

◆建築家への道 説明

まず、1級建築士になる前には、ほとんどの人が2級建築士の資格を取ります。建築課程の大学を卒業することで受験資格を得ます。他には、建築について学べる建築科のある工業高校で知識や技能を学んだ後、そのまま建設会社に入社し、数年の実務経験を積んで受験資格を得ることもできます。さらには、中学校や普通科の高校を卒業後、7年間の実務経験を積むと、受験資格を得ることもできます。最後に試験に合格すると資格がもらえます。1級建築士の受験資格を得るには、実務経験が必要で、大学を卒業して2～4年、もしくは、2級建築士の資格を取得して4年の経験が必要となります。そして、受験をして合格すると1級建築士の資格が取得できます。1級建築士の合格率は約10%とされています。

(出所) 池上(監修)(2005)より作成。